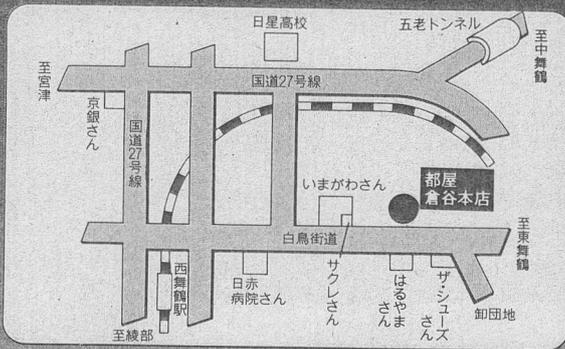


倉谷本店



午前 **10:00** ~ 午後 **7:00**

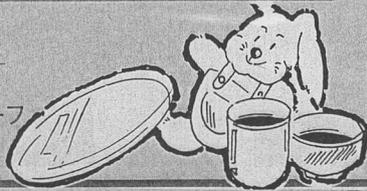
上記の営業時間は
平成6年 12月10日11日の2日間
のみの営業時間です。

12月

みずなぎ学園の展示即売会

平成6年 12月10日(土)~25日(日)

- 湯呑み ●皿 ●箸おき
- パッチワーク ●ハンカチーフ
- ぬいぐるみ



1995年(平成7年)7月26日 水曜日

京 都 府 新 聞

民謡を楽しむ人たち(みずなぎ学園)



ふれあいデーに
歌や踊り楽しむ

舞鶴のお年寄りら

舞鶴市の障害者援護施設
「みずなぎ学園」と養護老

人ホーム「安岡園」の人たちが二十五日、それぞれの園で民謡を楽しんだ。

舞鶴東署が五のつく日を「ふれあいデー」と決め、警察官による家庭訪問など住民と警察との連携を図りながら防犯や交通安全について話をしており、この日はその一環。署員のあいさつに続いて、京都市内の民謡ボランティアグループ「威和海会」(米谷威和海代表)の十二人が、三味線や尺八の音に合わせて「ソーラン節」などにぎやかに歌い、踊った。みずなぎ学園の会場には地元の人たち

も駆けつけ、楽しんだ。

ラブ「鹿寿美会」の人たち

舞鶴市民新聞

みずなぎ学園

お年寄りら民謡を楽しむ

地域住民と署員の「ふれあいデー」

志楽駐在所の西村巡査が企画

鹿原の障害者授産施設「みずなぎ学園」(竹之内正美園長、百七人)で二十五日、京都市内から訪れた民謡ボランティアグループ「威和海(いわみ)会」が、三味線の音にあわせ、ソーラン節などを披露した。地域住民との交流を深めようと、鹿原の志楽駐在所の西村泰輔巡査が企画した催しで、近くのお年寄りらも招いた。

京都府警では、「五」のつく日を「地域ふれあいデー」とし、府下の駐在所や交番勤務の署員らが地域住民らと積極的に交流を深めている。これまでにお年



民謡を披露する京都市から訪れた「威和海会」のメンバー

寄り宅を訪問したり、ゲートボール大会にも参加して

今回は西村巡査が、同学

園の園生や老人会「鹿寿美会」のお年寄りらに、民謡を楽しんでもらうことにした。京都市出身の西村巡査が、「威和海会」の代表・米谷威和海会さん(61)と京都市と交友があることから、同会の訪問が実現した。「鹿駐会ふれあい広場」と名付けた舞台上、同会の十三人が上がり、三味線や尺八の音色にあわせ、「宮津節」「ソーラン節」など十八曲を披露。園生から盛んな拍手を受けた。

平成7年10月17日

京 都 府 民 生 局

社会参加の歩み一目

舞鶴の「みずなぎ学園」

開設15年の記念誌発行

障害のある人たちの授産・更生施設を運営する社会福祉法人「みずなぎ学園」(隅山陣理事長、舞鶴市)が、開設十五周年記念誌をまとめた。記念誌はB5判、五十ページ。農芸、粉せっけんづくり、陶芸、縫製といった仕事に、いそいそと園生の様子や、十五年間のあゆみ、社

会見学旅行など楽しい年間行事をまとめている。ボランティアの受け入れ状況や、園生の感想文もあつて、園全体のことがかかるようにしている。五百部作り、府北部を中心とした福祉施設や行政機関に配った。障害のある人たちの社会参加を果たすため、昭和五十五年三月、社会福祉法人としてスタート、舞鶴市鹿原に定員五十人の通所授産施設を開いた。その後、五十八年四月に同じ場所に入所の更生施設を併設、平成二年四月には同市野村寺に通所授産施設みずなぎ高野学園を開設、活動の輪を広げた。現在、百三十四人が入所、通所で頑張っている。